

会 議 録

会議の名称		平成２８年度 第２回 守谷市社会教育委員の会議		
開催日時		平成２９年３月２３日（木） 開会：１０時００分 閉会：１２時００分		
開催場所		守谷中央図書館 集会室１		
事務局（担当課）		教育委員会 生涯学習課		
出席者	委 員	仁田議長，仁平副議長，霜多委員，堀込委員，高橋委員，持田（憲）委員，吉村委員，西委員，持田（正）委員，川崎（勝）委員，直井委員，中村委員 計１２名		
	その他			
	市職員	後藤教育長，飯塚教育部次長兼生涯学習課長，福島課長補佐 計３名		
公開・非公開の状況		☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部公開	傍聴者数	０人
公開不可の場合はその理由				
会 議 次 第		１ 開会 ２ 挨拶 ３ 議題 （１）平成２８年度 社会教育（生涯学習）事業の実施報告について （２）その他 ４ 閉会		

確定年月日	会議録署名
平成２９年４月１１日	議 長 仁 田 栄

審 議 経 過

1 開会

会議の公開，会議録への発言者の氏名記載について，委員全員の承認を得た。

2 挨拶

仁田議長

後藤教育長

3 議題

(1) 平成28年度 社会教育（生涯学習）事業の実施報告について

市では，議会による事業仕分け，行政改革推進委員会による外部評価により，事業のスクラップ&ビルドをしています。限られた予算の中で，新しい事業を展開するには，事業の統合・廃止・見直しが必要となり，生涯学習課所管の事業も平成26年度の外部評価により4事業を廃止・見直しをし，議会の事業仕分けにより，平成30年度をもって廃止・見直しする事業が決まっています。

その中で，生涯学習課が平成28年度に実施した事業で，本日，ご提示したものは，主要な施策や事務事業の取組状況です。

守谷市では，「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき，毎年，教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行っていますが，この一環で社会教育委員の皆様の評価や意見を外部意見としてお聞きしたいと思います。

事務局から資料に従って説明

仁田議長： 「1 豊かな生活を目指した学習機会の充実と人材バンクの活用」について，皆様からご意見，ご質問等をお願いします。

高橋委員： 公民館講座の講師探しが大変だと聞いています。この人材バンクを活用できないでしょうか。

事務局： 制度の改正について補足すると，これまで個人情報保護の関係で住所や連絡先を公開していなかったわけですが，指導者がどこの誰かわからない，その他知りたい情報も，その都度市に問い合わせなければわからないということで利用が進まない傾向にありました。

そこを改善して，指導者登録をする人の了解を得て，連絡先等公開可能な情報を公開して，指導を受けたい人が直接，指導者に連絡できるようにしました。

公民館講座の講師謝金は基本的に6,000円としています。それが可能ならば，講師を依頼することは可能だと思います。

持田（憲）委員： 指導者側から「登録しても依頼がない。」という声があるようで

すが、「頼まれれば教えます。」では活用されないのではないのでしょうか。ご本人も積極的に、指導できることをPRしたほうが良いと思います。

川崎委員： 自己評価のところは、「これをやりました。」というだけではなく、具体的な数値を示すとか、前年度との比較やこれをやるとこうなるということがわかったほうが良いと思います。

例えば、自然観察会の参加人数は昨年と比較して変化はあるのか、果たしてこの人数は目標値に近いのかなどがわかれば良いと思います。

事務局： 年度が終了していないので、数値が出せていない部分があります。

自然観察に参加する方は、興味のある方にしぼられることもあり、例年、同じような人数です。各回、場所を変えているので、同じ方が参加しても楽しめるとは思いますが、もっとPRして、新しい参加者を呼び込むことは必要だと考えます。

高橋委員： 興味を持たない事業は、参加者も集まりません。

公民館で、確定申告に備えた講座を設けても募集人員に満たないため、実施を見送った例がありました。

時宜にかなった講座を企画しているつもりでも、なかなか難しい面があるようです。

仁田議長： スポーツ指導者の人材バンクですが、ほとんどの指導者は平日日中の指導は無理で、夜しかできないと思います。

先日、松並地区にスポーツ推進委員がニュースポーツの指導に行きました。30～40代の若い世代の方が多く、スポーツをやりたいという気持ちを強く感じました。新しく守谷に転入した方に、どこでどんなスポーツをやっているのかなどの情報提供が必要だと思います。

川崎委員： 人権教育についてですが、人権意識の向上は大切なことだと思います。人権意識のチェックができる機会があれば良いのではないのでしょうか。

そういう機会があれば、虐げられていると感じる人にも再確認ができ、人権の大切さを知ることにつながると思います。

事務局： 人権意識の向上については、別のセクションで進めています。アンケート等の数値も把握されています。社会教育の分野でも人権は課題の一つです。今後も着実に取組んでいきたいと考えています。

仁田議長： 「2 学校、家庭、地域社会の連携による教育の推進」について、皆様からご意見、ご質問等をお願いします。

川崎委員： 学校体育施設の利用が飽和状態とありますが、学校教育と社会教育の融合ということで、施設改修に合わせて、社会教育活動もカバーできるような大きな施設の更新することはできないのでしょうか。

体育館が空いていないために、借りられなかったサークルはどのくらいありましたか。

事務局： 学校開放は、学校施設を有効活用する取組であり、あくまでも学校施設の更新なので、大きな施設の更新と言っても、そこまでの補助金が出ないことが考えられます。

年間で10サークル前後だと思いますが、今後、新たに活動を始めたいとなっても施設の空きがわずかしきありません。

同じ種目のサークルとシェアしてもらおうとか、既存のサークルに入ってもらおうことを勧めても、なかなか難しい状況です。

後藤教育長： 放課後の時間帯はスポーツ少年団活動、夜間が大人のサークル活動と時間帯を分けて使用していただいている状況です。今後、しばらく体育館の改修が続くため、順番に使用できない施設が出てきます。その間は、子ども達も各団が調整して使っている状態なので、大人にも少々我慢して使っていただかなければならないと思います。

その中で、サークル同士が体育館をシェアするなど工夫して使っていただけるとありがたいと思っています。

高橋委員： 民間が守谷市にスポーツ施設が少ないということを素早くキャッチして、ダンススタジオやスポーツクラブが参入しています。市が要望を全て聞いて、スポーツ施設などの建物を作っているのは市が破綻してしまいます。

民間が参入すれば、いろんな意味で市が潤うと思うので、民間施設の活用をしてもらうのも良いことだと思います。

仁田議長： 定期サークルには、新規サークルが一時的に使いたいという申し出があったときには譲ってあげるという条件で定期使用を許可してはどうでしょうか。

事務局： 現在も、特定の日にだけ使いたいという団体やサークルがいる場合は、譲ってもらえるよう周知しています。

仁平副議長： そういう問題は、学校の体育館だけではないと思います。

高齢者は時間があるため、いつでもグラウンドゴルフやペタンクができると思われるかもしれませんが、そんなことはないです。

常総運動公園にはグラウンドゴルフ場がありますが、河川敷のグラウンドを借りようとしても、野球やサッカー、ソフトボールと種目が限られているため使えません。

公園を使う場合もありますが、夏休み等の長期休業期間は子ども達が訪れるため活動をお休みするので、使いたい場所を使いたいときに利用できるかと言ったらそうでもないのが現状です。

持田（憲）委員： 利用したい時間帯が重なるから良くないのであって、日程調整・時間調整ができれば飽和状態も回避できるのではないのでしょうか。

仁田議長： 「3 学習活動の発表の場の提供と地域交流の拠点としての公民館活

動の推進」について、皆様からご意見、ご質問等をお願いします。

霜多委員： 文化協会は、中央公民館が主な活動場所です。最近では、地区公民館での活動が活発になってきて、中央公民館の集客が見込めない傾向にあります。

高橋委員： 課題のところに「隠れた人材発掘が必要」とありますが、文化協会ではどのような取組をしていますか。

霜多委員： 中高生を対象にした事業を行って、若い世代の発掘をしようとしたが、小学生の参加はあっても、中学生になると学業や部活動で忙しくなるためか参加者が減ってしまいます。

文化協会は、中央公民館だけで活動してはダメだと思っています。もっと外に出て、他のイベントなどでPRする必要があると思います。

高橋委員： 市内で活動している団体の中に、市外で発表会をすると1,000人もの集客がある団体があります。そういう団体が埋もれてしまうのはもったいないと思います。文化協会に加盟させることはできないのでしょうか。

霜多委員： これまでは、加盟の見極めを部会任せにしているところがありました。今後、改めるように検討していきたいと思います。

後藤教育長： 文化協会は、今年で発足40周年を迎えています。守谷市の文化・芸術の振興の大元を支えてきたことは間違いありません。さらに発展させるには、新しいものを取り入れて変化する必要があると思います。今後、その方向に向かうように期待しています。

霜多委員： 変わるべきところは変わらなければと感じます。文化協会事業もこれまでは無料でしたが、受益者負担で参加者を募ることを考えています。

仁田議長： いろいろな苦勞があると思います。事業を行うとき上に立つ人は苦勞するものです。そういうことも組んでほしいと思います。

仁田議長： 「4 健康づくりの推進とスポーツ活動の充実」について、皆様からご意見、ご質問等をお願いします。

川崎委員： スポーツの行事・イベントにはどのようなものがあるのか、よくわかりません。いつ、どこで、どのような行事が行われているのかわかるようにしてほしいと思います。

仁平副議長： 夏休みのプール開放では、民間施設も利用できるのでしょうか。

事務局： 現在は常総運動公園のプールだけです。平成29年度からは民間の施設も使わせてもらえるように協議しているところです。使えるようになると、家の近くに行くか、遠くても屋外プールに行くかなど子ども達が選択して3枚の券を使うことができるようになるかと考えておりますが、すべての施設に協力してもらうことはなかなか難しい状況です。

仁田議長： 各地でマラソン大会が増えていますが、参加者はこれ以上増やせないようです。コースに関してはアサヒビール前の路面がぼこぼこなので、

補修できないのでしょうか。

事務局： 市役所をメイン会場にしていますが、収容の面を考えると6,000人が限度だと思います。また、市役所を開放してもらえることがありがたいという声も多いです。

道路補修については、ご指摘の道路が県道のため、今後、県の担当に働きかけていきます。

後藤教育長： ハーフマラソンはたくさんの市民に支えられています。ボランティアが作り上げた大会と言って良いと思います。大会の規模からすると6,000人が限度だと思うし、丁度いいと思っています。年を重ねるごとにいろいろな工夫もされています。

事務局： 今回、初めて「ふるさと納税枠」を新設しました。市外の方はネット申し込みなのですが、2～3日で定員いっぱいになってしまいます。

ふるさと納税枠は別枠なので、そのようなことが回避できるし、10,000円の納税で最終的に計算すると2,000円程度の負担で参加したことになります。今後も継続したいと考えています。

高橋委員： トイレが少ないように感じます。いつ見ても長蛇の列になっているので、走る人に支障がないのか心配になります。

堀込委員： 味噌汁の配布をお手伝いしていますが、調理場が遠くて、運んでくるのが大変なのではないのでしょうか。食堂が借りられれば良いと思いますが、何か借りられない事情があるのでしょうか。

事務局： 営業する側からすると、調理場に不特定の人が入ることは衛生面から見て適切でないからだと思います。以前は借りていたのですが、具合の悪い人が食堂のトイレを使ったために翌日から消毒作業をすることになり、数日間営業できなくなったことがありました。そういったリスクも考慮しなければならぬため、調理場とトイレは借りないことにしました。フロアは引き続き、スタッフの控え場所として借りています。

仁平副議長： 参加者が減ってつぶれている大会もある中、守谷ハーフマラソンは人気があります。東京マラソンに合わせて、調整のために参加する人も多いようです。

ドクター他、多くの医療スタッフに協力してもらって、危険性の回避もできています。

仁田議長： 「5 郷土愛を深めるための文化財の保存及び周知」について、皆様からご意見、ご質問等をお願いします。

川崎委員： 文化財が少ないように思います。

今、指定されている文化財の中で、最低限どのようなものを知ってほしいか、もっとPRをしても良いと思います。

事務局： 観光協会が作成した「市民のつくった守谷史」は、我々も知らないことが書かれており、興味深い内容です。図書館でも見ていただけるので、一

度ご覧になってください。

市内の文化財や古文書などの調査・研究を進めるように指示されています。今後、調査を通して、価値のあるものや守谷の歴史として発信できるものを見極めていきたいと思っています。

高橋委員： 「市民のつくった守谷史」は、守谷の古いことから新しいことまで書いてあります。観光協会は、市にたいぶ貢献していると思います。

後藤教育長： 文化財はなくなってからでは遅いと思っています。どうしたら文化財に関する理解ができるのかPRが必要です。

川崎委員： 公民館や図書館で啓発イベントを行うのもPR活動として効果があると思います。

仁田議長： 「6 放課後子ども総合プランの充実と児童の安心・安全の確保」について、皆様からご意見、ご質問等をお願いします。

川崎委員： 需要が増えている事業です。指導員の人材不足が心配ですが大丈夫なのでしょうか。人材確保と活動場所を何とか確保してほしいと思います。

事務局： 児童クラブに関しては、児童数が増えていなくても入所を希望する方が増える傾向にあり、子どもが小学校に入学するタイミングで仕事を始める方が増えていることが考えられます。保護者が就労できなくなるような状況は避けたいので、学校と連携して特別教室や余裕教室をクラブの活動場所として提供していただくなど、今後の課題として対応する必要があります。

運営を民間事業者に委託しています。指導員の確保も今のところ、特に問題はないようです。他の自治体では賃金など指導員の処遇の問題が出ているようですが、今は特にありません。それよりも、今、放課後子ども教室に来てくださっている地域ボランティアの方が高齢化しています。無料日には大勢の子ども達の参加がありますが、ボランティアの方の支えがなくてはなりません。ボランティア活動を継続していただけるかが心配です。

仁田議長： この事業に関しては、前統轄責任者の持田委員から、以前から課題になっている無料日の対応や人材確保についてお話いただきます。

持田（正）委員： 無料日は主に月曜日ですが、この日は誰でも参加ができます。活動場所は、学校側の対応を柔軟に受け止めながら、体育館やグラウンドを利用して子ども達が安全に活動できるよう努めていますが、通常の活動日に比べて、かなり大勢参加するため、地域ボランティアの協力は不可欠です。

受託者の株式会社アンフィニは、人材派遣会社でもあるため、人材は豊富ですが、子ども達の命を預かるということを考えると、誰でも構わないわけではなく、質の良い指導力のある指導員が必要だと考えます。

守谷市は、先進的な取組を展開しており、他の自治体と比較す

るとかなり上回っていると思います。

吉村委員： 放課後子ども教室や児童クラブに所属していないと、グラウンドで遊べないのでしょうか。

持田（正）委員： そんなことはありません。安全上のルールを決めて遊ばせています。所属している子どもの帽子にマークを付けるなどして、目で見てすぐに分かるようにしています。

仁田議長： 私も放課後子ども総合プランの実行委員になっています。

もともと無料日は、この事業をPRするためのものだったのに、無料だから預けると考える方もいるようです。

そのような中、受託者は、民間のノウハウを生かして、50以上の事業を行っていて、子ども達を飽きさせないという努力が見られます。

習い事ができるようにしてほしい、勉強を教えて欲しいなどの要望があるようですが、サッカーにしても、英語にしても、そのような目的で行っているわけではないので、保護者の方にも理解していただきたいものです。

学校との連携は良好だと思います。校長先生が施設長になっていて、何かあれば相談できるような体制になっています。時々、養護の先生にお世話になることもあるようですが、できるだけ、学校の先生方に負担がかからないようにしているそうです。

参加者も増え、事業PRは十分できたと思います。そろそろ無料日の対応策を考える時期にきていると思います。

（２）その他

仁田議長から、次年度の北相馬地区社会教育振興協議会のスケジュールの概要について報告がありました。